

対雁小学校保護者の皆様

令和7年度江別市立対雁小学校「学校教育に関するアンケート」について

江別市立対雁小学校
校長 田 中 豊 人

厳寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年11月に実施いたしました令和7年度の「学校教育に関するアンケート」では、ご多用中にも関わらず、ご協力をいただき誠にありがとうございました。おかげさまで、高い回収率で保護者の皆様にご回答をいただきました。その集計結果と考察等についてまとめましたので、お知らせいたします。

1. 令和7年度江別市立対雁小学校「学校教育に関するアンケート」集計結果

回答数293件(回答率53%)		A 十分	B ほぼ十分	C やや不十分	D 不十分
項目					
【学校教育目標に関すること】					
① お子さんは、進んでよく学び、よく考える姿勢が育っていると思いますか。	18.4%	63.9%	16.0%	1.7%	
② お子さんは、思いやりがあり、助け合う態度が育っていると思いますか。(重点取組「つながろう」)	29.4%	65.5%	5.1%	0.0%	
③ お子さんは、粘り強く、最後までやり通す態度が育っていると思いますか。(重点取組「やってみよう やりぬこう」)	18.1%	62.5%	18.1%	1.3%	
④ お子さんは、いつも元気でたくましく育っていると思いますか。	45.5%	48.1%	6.1%	0.3%	
【各ご家庭に関すること】					
⑤ お子さんは、学年に応じた基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯・あいさつ等)が身についてきていると思いますか。	29.0%	52.6%	16.4%	2.0%	
⑥ ご家庭では、お子さんの家庭学習に関わることができますか。(お子さんの頑張る姿勢への賞賛、継続的な取り組みとなるような励まし、学習したノート等の確認など)	18.9%	49.1%	27.6%	4.4%	
【開かれた学校づくり・信頼される学校づくり】					
⑦ 対雁小は、家庭や地域の方々へ、積極的に情報発信をしていますか。(参観日、一斉公開日、学校HP、連絡アプリtetoru、学校だより、学年通信等)	49.8%	47.1%	3.1%	0.0%	
⑧ 対雁小は、家庭や地域の方々との連携を大切にしていますか。(学年・学級懇談、個人懇談や各種のお便り、PTA活動、学校支援ボランティア・保護者ボランティアの活動等)	47.8%	50.5%	1.7%	0.0%	
【確かな学びづくり】					
⑨ 対雁小は、子どもたちに基礎的な学力が身につくよう指導を行っていますか。(日常の学習、朝学習・朝読書、ノート指導、話し方・聞き方の指導、家庭学習の働きかけ、学力調査の分析等)	38.2%	54.6%	6.5%	0.7%	
⑩ 対雁小は、指導方法の工夫や組織的な支援体制等を通じて、個に応じた指導に努めていますか。(特別支援教育支援員や地域・学生ボランティア・学習サポーターの活用等)	37.9%	56.3%	4.8%	1.0%	
⑪ 対雁小は、「タブレット端末を活用し、自分の考えをまとめたり意見交流したりする」「AIドリルを活用し練習問題に取り組む」など、ICTの有効活用に努めていますか。(教科指導)	33.4%	60.8%	4.8%	1.0%	
【豊かな心づくり】					
⑫ 対雁小は、「進んであいつをする」「決まりを守る」「思いやりの気持ちをもち行動する」など、豊かな心の育成に努めていますか。(児童会あいさつ運動、道徳指導、「つながろう」「やってみよう やりぬこう」の目標設定等)	40.3%	55.6%	4.1%	0.0%	
⑬ 対雁小は、子どものよさや努力を積極的に認めるなど、自己肯定感を高め、主体的に行動する態度の育成に努めていますか。(教科指導、自由進度学習、学校行事、生活指導、ポジティブ行動支援等)	37.6%	54.9%	7.2%	0.3%	
【健やかな体づくり】					
⑭ 対雁小は、子どもの健康や体力の向上に努めていますか。(健康指導、食育の推進、体育科の授業改善、体力テスト、外遊びの奨励、児童会企画の運動等)	36.9%	57.3%	5.1%	0.7%	
⑮ 対雁小は、子どもの安全管理や事故防止に努めていますか。(安全指導、避難訓練・防犯教室、家庭・地域と連携した見守り活動、安全にかかわる配信等)	42.7%	52.2%	4.4%	0.7%	

2. 項目別考察と学校の回答

【学校教育目標に関すること】（質問項目①～④）

（1）考察

重点取組である「思いやりがあり、助け合う態度」（Q2）は肯定的な評価（AとBの合計）が94.9%、と高い評価となりました。「つながろう」というキャッチフレーズやポスターの掲示、教育活動と一体となった取組の成果が表れたものと考えます。一方でもう一つの重点取組である「粘り強さや主体性の育成」については、肯定評価が他の項目より低く、重点課題と認識しております。

（2）ご意見の内容と学校の回答

◎肯定的なご意見：重点取組「つながろう」に対し9割を超える高い評価をいただき、上級生の下級生への関わり方が素晴らしい、心無い意地悪が聞こえなくなったといったお言葉をいただきました。

●課題に関するご意見：「学習が楽しいと思っていなく、進んで取り組む姿勢になっていない」「挑戦前に諦めてしまう傾向にある」といった、主体性や粘り強さに関するご指摘がありました。また、「良い子に意地悪な事を言ってみたり」といった人間関係の課題や、「宿題が上手く出来なくて、グジグジ言ったりが目立つ」といった自己調整力の不足に関するご意見も寄せられています。

○学校の回答：粘り強さの育成（Q3）は、本校の重点取組「やってみよう やりぬこう」の一つです。今後は、子どもたちが達成感を味わえるよう、自由進度学習や個別最適な学びを通じて、自ら考え、粘り強くやり抜く経験を強化します。また、人間関係や生活面での課題については、継続的な生活指導や道徳教育を通じて適切な行動を指導してまいります。

【各ご家庭に関すること】（質問項目⑤～⑥）

（1）考察

「各ご家庭に関すること」は、学校と家庭の連携が重要となる項目です。「家庭学習への関わり」（Q6）は肯定合計が68%と、全項目の中で最も低い評価となりました。保護者の皆様が、日々の忙しい生活の中で、家庭学習に関わることの難しさが伺えます。

（2）ご意見の内容と学校の回答

◎肯定的なご意見：「宿題等、丁寧に見ていただきありがとうございます」といった感謝の言葉もいただいております

●課題に関するご意見：「学年が進むにつれ、早寝早起きが出来なくなっている」「朝ごはんを食べられないことが多い」など、生活習慣の乱れに関する懸念が寄せられました。また、家庭学習への関わり方について「宿題だけで精一杯な感じ」「学校での勉強の進捗状況がわからず、また置き勉もしているので教科書を確認する事もできない。どのように関わってよいかわからない」といった具体的な意見がありました。

○学校の回答：

- ・基本的な生活習慣の確立は学習の土台です。引き続き学校で指導を行いますが、早寝・早起き・朝食の徹底にはご家庭のご協力が不可欠です。ご家庭でのご指導もお願いいたします。
- ・家庭学習への関わりについては、置き勉やタブレット利用の状況を踏まえ、学習の進捗状況や、ご家庭で重点的に見ていただきたい点などを、より具体的にお知らせするよう努めます。また、「復習プリントを毎日配って欲しい」というご要望については、子どもたちの負担を考慮しつつ、AIドリル等のICTも活用し、効果的な反復学習を提供する方法を検討してまいります。

【開かれた学校づくり・信頼される学校づくり】（質問項目⑦～⑧）

（1）考察

「積極的な情報発信」（Q7）、「家庭や地域の方々との連携」（Q8）のいずれも、肯定的な回答がそれぞれ96.9%、98.3%と非常に高い評価をいただきました。これは、日頃からの連絡アプリ（totoru）の活用や、地域・保護者ボランティア（いきいき行動隊など）との連携が円滑に行われていることの成果だと感謝しております。

（2）ご意見の内容と学校の回答

◎肯定的なご意見：「冬道通学路の連絡など、すぐにテトルで発信していただきありがとうございました」「いきいき行動隊の方々に感謝している」等、迅速な情報伝達や連携体制への感謝の声を多数いただきました。

●課題に関するご意見：「小学校のブログの更新頻度が下がった気がする」「教員による過失を隠蔽しようとしている姿勢が時折見える」といった、学校運営に関する厳しいご指摘もいただきました。

○学校の回答：

- ・情報発信と連携体制については、今後も維持・強化してまいります。ブログの更新頻度については、個人情報保護に最大限配慮しつつ、子どもたちの活動の様子をより頻繁にお伝えできるよう工夫します。
- ・教員の対応や学校の姿勢に関するご指摘については、真摯に受け止め、職員一同、風通しの良い組織運営と保護者の皆様との誠実で透明性のある対応を心がけ、信頼回復に努めてまいります。

【確かな学びづくり】（質問項目⑨～⑪）

（1）考察

「基礎的な学力指導」（Q9：92.8%）、「個に応じた指導」（Q10：94.2%）、「ICTの有効活用」（Q11：94.2%）のいずれも高い肯定的な評価をいただきました。特に、組織的な支援体制（Q10）や、教科担任制の導入などに対する評価が寄せられています。

（2）ご意見の内容と学校の回答

◎肯定的なご意見：「5年生が教科担任制を取り入れたり、単元毎に指導者を交換したりしている取組がとても良い」「担任団3人で学年全体を育てようとして下さっていることがひしひしと伝わる」といった、組織的な指導体制への高い評価をいただきました。

●課題に関するご意見：

- ・指導について：「授業中騒ぐ児童への指導が不十分。毎日同じ児童がうるさくて、授業に集中できない。」「指導は厳しすぎる部分が多く、とても窮屈に見えます。さらに過重な宿題で、負担が多すぎるのでないか。」といった、指導の徹底と配慮の両面でご指摘をいただきました。
- ・ICT活用について：「タブレットが上手く起動しなかったり、バグがあつたりと使いにくそう」「週末タブレットを持って帰るのが重く、荷物が増えるためかわいそう」「週末の宿題が終わっているならば児童は持つて帰らなくてもよくしてほしい」「授業以外のYouTube見られなくして欲しい」「視力低下が心配」といった運用上の懸念が多く寄せられました。

○学校の回答：

- ・肯定的な評価をいただいた、組織的な指導体制を継続します。
- ・授業環境の維持については、学年担任のみならず全職員が連携し、誰もが安心して学習に集中できるよう、一貫した方針で指導してまいります。また、指導の厳しさや宿題の量については、指導の目的を明確にしたうえで、「学力の定着や目標に向かって頑張る姿勢を育てる」と「負担が過重とならないようにすること」のバランスを考慮しながら、内容の精査してまいります。

- ・ICT機器の不具合については、教育委員会と連携し、早急なメンテナンスを求めてまいります。タブレットの持ち帰りについては、家庭学習の充実のため継続いたしますが、他の教材の置き勉を推奨するなど、荷物の軽量化に努めます。なお、YouTube等の利用制限については、学習動画の視聴等にも活用しているため、学校単位で個別に制限をかけることが難しい現状です（教育委員会のネットワーク管理によるもの）。学校では「タブレットは学習用具である」という意識を育てる指導を継続します。あわせて、適切な利用時間や视力保護についても、健康教育の中で繰り返し指導してまいります。

【豊かな心づくり】（質問項目⑫～⑬）

（1）考察

「豊かな心の育成」（Q12：95.9%）、「自己肯定感を高める育成」（Q13：92.5%）のいずれも高い肯定評価をいただきました。重点目標である「つながろう」が浸透し、子どもたちの優しさや教職員の積極的な承認が自己肯定感を育んでいると認識しています。

（2）ご意見の内容と学校の回答

◎肯定的なご意見：「上級生の下級生への関わり方が素晴らしい」「息子もより多くの先生に頑張りを認めてもらえる機会が増えて、自己肯定感が上がっている様子」といった、子どもたちの心の成長や教職員の関わりに対する感謝が多くありました。

●課題に関するご意見：

- ・「児童のトイレ掃除は衛生的にどうなのか。この時代に合っているとは思えない」といった清掃に関するご指摘や、「学習発表会で私語が目立ちました」「家庭でも指導していますが、言葉の使い方が時々気になります。『死ね』などの言葉をかけられることがある」といった言語環境に関するご指摘がありました。
- ・「子どもが頑張っても、担任が“気づかなかった”という言い訳ばかりでやる気を削ぐ行動が多すぎる」といった教員の姿勢に関する厳しいご意見もありました。

○学校の回答：

- ・豊かな心づくりの基盤となる「自己肯定感・自己有用感の醸成」に重点を置いた指導を継続します。言葉遣いについては、全職員で規範意識を共有し、使ってよい言葉にはしっかりと褒め、使ってはいけない言葉には毅然とした態度で対応する指導を行います。教職員の関わり方については、子どもたちの努力を積極的に認め、自信に繋がる声かけに努めてまいります。
- ・児童のトイレ掃除については、教育的な意義を大切にしつつ、衛生面へのご懸念を念頭に置いて、教職員による指導と確認を強化することで、清潔で安全な環境維持に努めます。

【健やかな体づくり】（質問項目⑭～⑮）

（1）考察

健康や体力向上（Q14：94.2%）、安全管理や事故防止（Q15：94.9%）について、高い肯定的な評価をいただきました。

（2）ご意見の内容と学校の回答

◎肯定的なご意見：「いきいき行動隊の方々に感謝している」「迅速な安全情報の発信への感謝」など、地域や保護者と連携した安全体制への評価をいただきました。

●課題に関するご意見：

- ・「日没の早い季節の6時間目60分授業は少なくして欲しい」。「大雪の日（11/18）に、1年生は歩道が除雪されていない状況で下校となっており危険ではないか」「登下校時の通行の仕方が危険だと思われる行動をす

る児童が多い（飛び出し、左右確認せず横断など）」「不審者が増えているので、今まで通りの対策ではいつか最悪の事態が起こるのではないか」といった安全管理に関する具体的な懸念が寄せられました。

- ・「外遊び、体育館遊びについて無理強いをされたことがあり悲しい思いをしたので強制することはしないでいただきたい」といった遊びを通した体力向上についてのご意見をいただきました。

○学校の回答：

- ・登下校の安全指導（交通ルール順守、飛び出し防止）を強化します。冬期の下校指導については、通学路の除雪状況を考慮し、特に低学年の安全確保に努めます。
- ・体育活動や外遊びの指導については、ご指摘を真摯に受け止め、児童の心身の状態や意欲を尊重し、活動の楽しさを伝える指導を心掛けてまいります。
- ・不審者対策については、地域・警察と連携を強化し、より実効性の高い避難訓練や防犯教室に努めてまいります。

4. 子どもたちの「よさ」に関する【考察】と【ご意見の内容】

本年度の教育活動の中で、子どもたちが頑張っていた様子や心に残った「よさ」について、多くの温かいお言葉をいただきました。ここにその一部をまとめ、子どもたちの成長を皆様と共有いたします。

(1) 挨拶・礼儀・地域とのつながりの良さ

- ・学校へ用事があつて行った時、いつも児童が挨拶してくれて気持ちがよいです。また、教室の場所が分からぬ時に、案内してくれた子がいてとてもしっかりしていて素晴らしいと思いました！
- ・親族、友人から対雁小学校の児童の良い評判を聞きます。歩道を歩いている時は元気よく挨拶をしてくれて気持ちが良いとのこと。運転中、児童に道をゆずった時は深く会釈されたと大変感動されていました。
- ・ボランティアで、学校へ行く機会が多いですが、いつも子供たちは元気一杯挨拶してくれます。また、「水泳、見守りに来てくれてありがとうございます！」や「おトイレのお掃除してくれて、ありがとうございます！」など低学年のうちからしっかりとお礼を言ってくれる子が本当に多いです。人懐っこさはピカイチだと思います。
- ・登下校時にすれ違う子供たちが顔見知りではなくても大きな声で挨拶をしてくれた事に感激いたしました。

(2) 豊かな人間関係と心の成長

- ・人の嫌がること（容姿についてなど）を言わないし、しないという考え方が子供たちに浸透していると感じました。
- ・5年生になって学年全体が落ち着いたように感じます。中指を立てる、友達の名前をいじる、など中学年ならではの心無い意地悪やいたずらが息子の話から聞こえなくなったと感じます。友達の長期欠席を心配したり、クラスや学年で楽しかった話が増えたりしました。
- ・上級生の下級生への関わり方が素晴らしいです。思いやり、優しい気持ちを引き継いでいって欲しいです。
- ・我が家は子供達が、よく「〇年生のためにこんなことするよ！」「喜んでもらえるかな？」と言った話を家でしてくれます。家では自分の事も適當なのに、人の為に一生懸命であることに感動します。そういう環境が整っていることにも、感謝しています。
- ・委員会やクラブ活動などで縦のつながりをもてているようで、「～してもらった！」と嬉しそうに話していました。人数がとても多いので、異年齢交流を通して誰かの役に立ったり、お世話してもらったりしたことが、心動く体験になっていると思います。ありがとうございます。

(3) 行事への取り組みと学習への主体性

- ・運動会では最後まで諦めない姿、発表会ではまとまりのある良いものを作り上げようとする姿を見ることができました。
- ・学習発表会で、苦手なことにちゃんと向き合い、練習を重ねて苦手を克服し、頑張ることができたという成長した姿を見られてよかったです。
- ・自由進度学習は、子供が主体的に学びに向かうことのできるすばらしい取り組みだと思います。家でも自分からリコーダーの練習をしたり、家庭学習に向かえるようになったりしたのはこの取り組みの積み重ねの成果なのではないかと感じています。
- ・発表会のがんばり、大きな声で台詞を言ったり、学校で覚えたことを自信いっぱいに発表したりする姿はとても頼もしく成長を感じられました。
- ・担任の先生が中心となり、他の先生たち(校長先生や教頭先生など)も一緒に学習に協力してくれるところ。複数の先生たちに見守られることで、色々な声かけをしてもらえると思うので子供たちの自信に繋がっていると思います。

【むすびに】

この度のアンケートでは、子どもたちの「よさ」を再確認させていただくと同時に、学校運営や指導方法、安全管理に関する具体的な課題を数多くご指摘いただきました。皆様からいただいた貴重なご意見は、次年度以降の教育活動を改善していくための重要な指針となります。

特に、評価が伸び悩んだ「進んで学ぶ姿勢」「粘り強くやり通す態度」の育成については、学習指導や生活指導において明確に重点化し、教職員一同、さらなる教育活動の充実に努めてまいります。また、ICT機器の円滑な運用、安全な登下校環境の確保、そして保護者の皆様への誠実な対応を強化することで、信頼される学校づくりを推進してまいります。

今後も、保護者の皆様、地域の皆様と連携を密にし、対雁小学校の子どもたちが目標に向かって生き生きと学び、成長できる環境づくりを進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力を願い申し上げます。